

2023年の主な出来事

1月

- 「広報あづみの」のデザインをリニューアル
- 市総合計画審議会が、令和5～9年度を計画期間とする後期基本計画案を太田市長に答申

2月

- 行方不明者の早期発見・保護の「安曇野市見守りシール」利用開始
- 服飾専門学生が天蚕を活用したビジネスプランを提案する「Silk Idea Competition-TENSAN-2023 in AZUMINO」を開催 **【写真①】**

3月

- 妊娠初期から子育てを応援する伴走型相談支援と応援給付金をスタート
- 脱炭素への取組み「安曇野ゼロカーボンシティ」を宣言

4月

- 「誰もが輝ける共生社会安曇野」を目指し、多様性を尊重し合う共生社会づくり計画スタート
- スマートフォンで簡単オンライン申請「ぴったりサービス」の運用開始

5月

- 新型コロナウイルス感染症が5類に移行
- 安曇野12時間口ゲーミングを初開催

6月

- 「安曇野市東部アウトドア拠点」の基本構想策定スタート
- 市民の皆さんの情報発信の場 会見場利用開始
- 信州安曇野ハーフマラソン前日イベント「安曇野スポーツフェスティバル2023」を初開催 **【写真②】**
- 第9回信州安曇野ハーフマラソンを開催
- 内水氾濫に備え排水ポンプ車を配備
- クラムザッハとの姉妹都市提携30周年記念式典を開催 **【写真③】**
- 安曇野フルコース(中華編)メニュー完成 お披露目会開催

7月

- 外国籍市民相談窓口を開設
- 東京藝術大学 安曇野AIR開催。同校出身の3人の若手芸術家が市内に滞在し、制作活動を始動
- 新婚世帯の経済的負担軽減 結婚新生活支援事業スタート
- 4年ぶりに「第44回あづみ野祭り」を開催 **【写真④】**
- 三郷西部認定こども園の新園舎が完成
- 太田市長とJA あづみ千国組合長がシンガポールで安曇野の特産品をトップセールス

8月

- 穂高納涼祭、ふるさと夏祭りを4年ぶりに開催
- 豊科南穂高に市内2カ所目となるラウンドアバウトが完成
- ニホンザル追い払い隊始動 62人を隊員に任命
- 4年ぶりの通常開催となる第16回安曇野花火を開催
- 8年ぶりに明科で開催！第32回信州安曇野新能 **【写真⑤】**
- 安曇野フルコース(イタリアン編)メニュー完成 お披露目会開催

9月

- 「安曇野市×京都芸術大学連携アートプロジェクト」成果作品の発表展示
- あずさマルシェ in LUMINE AGRI MARCHEをJR新宿駅で開催

10月

- 「安曇野ぐらし」の魅力を発信 東京駅前のKITTEでイベント初開催
- 総工期5年 明科駅前広場が完成 **【写真⑥】**

11月

- シンガポールでAZUMINO Fair を開催
- 安曇野ナンバーの図柄案が決定



「中学校部活動が無くなる!？」 地域で育むための挑戦

地域と学校をつなぎ、
競技の入口を広げる卓球クラブのコーチ

内田 聡さん(堀金)



卓球クラブの指導者を長年続け、現在「部活動の地域移行」のモデルを創ろうと奮闘する内田さんに話を聞きました。

「楽しい」から続けられる

鉄工製造業の経営をしながら、20年以上、堀金少年卓球クラブで小中学生を教えています。週3回の練習に加え、土日には大会や練習試合があることも多く、正直かなり大変です。しかし、それ以上に卓球や子どもたちと過ごす時間が楽しく、強くなろうと一生懸命練習し、上達していく子どもたちの姿にやりがいを感じます。これまで続けてこられたのは、練習に合わせた生活を快くサポートしてくれる家族のおかげでもあり、感謝しています。

かつては強く育てるために威厳をもって接する「鬼コーチ」でした。確かに、全国大会出場者を出すなど結果を残していましたが、中学卒業後に辞めてしまう子どもも多くいました。今は決して叱らず、練習の合間には子どもたちと遊んでコミュニケーション

参加できなくなるとのこと。地域クラブでの活動には費用負担が生じるとなると、ハードルが上がりがち、気軽に競技を始められなくなるとも考えられます。部活動は生徒の多くが所属し、その競技への最大の入口になっていきます。それが無くなるということは、競技人口の減少に直結します。そうならないよう、話し合いや好事例を学ぶ場に参加したり、自ら設けたりし、行政と生徒・保護者の双方が納得いく形を作ろうと知恵を絞っています。

今、地域クラブだからその取り組み

シオンをとるようにしています。卓球は年齢に関係なく楽しめるスポーツ。強くなることはもちろん嬉しいですが、それ以上に「卓球を好きになり、長く続けてもらいたい」という思いで接しています。

地域移行後の姿を模索

また、堀金中が部活動の地域移行のモデル校となったことで、試行錯誤が続いています。現在、休日の部活動は堀金少年卓球クラブとしての活動になりました。国からは平日の部活動も地域クラブ活動へ移行するよう推奨されていますが、部活動の時間に指導できる人材の確保や費用面をどうしていくかなど、難しい課題が多くあります。



有限会社内田工業代表取締役社長。学生時代に卓球に打ち込んだ。社会人となってからは卓球から離れていたが、娘がクラブに加入したことをきっかけにコーチとなり、20年以上続けている。安曇野卓球連理理事長。

MEMO
○部活動の地域移行
令和4年12月に国から指針が示された、公立中学校の休日の部活動を地域のスポーツクラブに段階的に移行する動き。生徒数減少による部活動の縮小、教職員の負担増といった課題を解決するための取り組み。
○堀金少年卓球クラブ
火・日曜日の午後6時30分～午後9時、日曜日の午前9時～正午に堀金総合体育館で活動。小学生5人、中学生19人が所属。

みとして、小中学生と大人のクラブが交流する機会を作ろうと考えています。大人が楽しく卓球をしている姿を見せることで、「大人になっても卓球を続けよう」と子どもたちに思ってもらえたら嬉しいですね。